

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 登録実用新案公報(U)

(11) 実用新案登録番号

実用新案登録第3103947号
(U3103947)

(45) 発行日 平成16年8月26日(2004.8.26)

(24) 登録日 平成16年6月23日(2004.6.23)

(51) Int.Cl.⁷

B 4 3 M 9/00

B 4 2 D 9/00

F I

B 4 3 M 9/00

B 4 2 D 9/00

F

評価書の請求 有 請求項の数 2 書面 (全 4 頁)

(21) 出願番号 実願2004-1747 (U2004-1747)

(22) 出願日 平成16年3月5日(2004.3.5)

(73) 実用新案権者 504132722

加藤 里絵

岐阜県多治見市生田町1丁目7番地

(72) 考案者 加藤 里絵

岐阜県多治見市生田町1丁目7番地

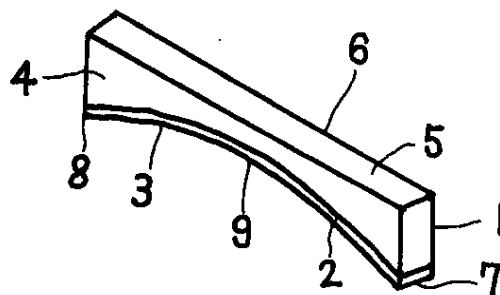
(54) 【考案の名称】 書籍用文鎮

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】開いた状態の書籍の上に乗せても滑り落ちないで、書籍を開いておける書籍用文鎮を提供する。

【解決手段】横に長い直方体を底面の両端から中央部に向かって円弧状に凹ませた形状にして、底面に書籍の紙面を押さえるのに適当な重量を有する金属、セラミックス、石材等を用いて、横に長い直方体を底面右端部7と底面左端部8から底面中央部9に向かって円弧状に凹ませた形状にする。また更に、底面3にゴム、軟質の合成樹脂などの滑り止め部材2を設ける。

【選択図】 図1



【実用新案登録請求の範囲】

【請求項 1】

横に長い直方体を底面右端部と底面左端部から底面中央部に向かって円弧状に凹ませた形状にした書籍用文鎮。

【請求項 2】

底面に滑り止め部材を設けた請求項 1 記載の書籍用文鎮。

【考案の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本考案は、書籍を開いた状態を維持するための書籍用文鎮に関するものである。

10

【背景技術】

【0002】

従来、書籍を開いた状態を維持するためには、底面の平らな文鎮を開いた状態の書籍の紙面の上に載せる方法があった。

【考案の開示】

【考案が解決しようとする課題】

【0003】

しかしながら、底面の平らな文鎮は開いた状態の書籍の紙面の上から滑り落ちてしまうことがあり、また、書籍によっては全く使用できないという問題点があった。

【0004】

20

本考案は、開いた状態の書籍の紙面の上に載せ、書籍の紙面の上から滑り落ちることなく、書籍を開いた状態を良好に維持し得る書籍用文鎮を提供する。

【課題を解決するための手段】

【0005】

本考案に係る書籍用文鎮は、横に長い直方体を底面右端部と底面左端部から底面中央部に向かって円弧状に凹ませた形状にして、底面に滑り止め部材を設けることにより、上記課題を解決する。

【考案の効果】

【0006】

請求項 1 記載の考案によれば、書籍用文鎮は開いた状態の書籍の紙面の上から滑り落ちることなく、書籍を開いた状態を維持することができる。また、請求項 2 記載の考案によれば、書籍用文鎮の下で紙面がずれることなく、更に良好に書籍を開いた状態を維持することができる。

30

【0007】

本考案に係る書籍用文鎮を使用すれば、開いた状態の書籍の紙面の上に載せた文鎮が、書籍の紙面の上から滑り落ちて書籍が閉じてしまうという心配がなくなり、また、手で押さえて書籍を開いておかなくてもよくなるので、読書のほか、書籍を見ながら手を使う作業をする時（例えば、工作、料理、書籍の書写など）にも最適である。

【0008】

また、平らな面である前面 4、上面 5、背面 6 の内、いずれか一つの面を下にして用紙などがずれないようにするための文鎮としても使用できる。

40

【考案を実施するための最良の形態】

【0009】

書籍の紙面を押さえるのに適当な重量を有するもの（例えば、金属、セラミックス、石材など）を用いて、図 1 に示すように、横に長い直方体を底面右端部 7 と底面左端部 8 から底面中央部 9 に向かって円弧状に凹ませた形状にする。また更に、底面 3 に滑り止め部材 2（例えば、ゴム、軟質の合成樹脂など）を設ける。

【0010】

本考案に係る書籍用文鎮を使用するときは、机の上などの水平な所の上に書籍を開いた状態で置き、書籍の左右の紙面を跨がせるようにして書籍用文鎮を載せる。

50

【実施例 1】

【0011】

本考案に係る書籍用文鎮の底面 3 は、厳密に円弧状に凹ませた形状にすることに限定されるのではなく、例えば適当に放物線状に凹ませた形状にしたり、あるいはこれに近いものでも適用可能である。

【実施例 2】

【0012】

本考案に係る書籍用文鎮を使用するときに、開いた状態の書籍 10 の閉じようとする力が、書籍 10 の右側と左側とで差がない場合は、図 3 のように、書籍 10 の綴じ目 11 に書籍用文鎮 1 の底面中央部 9 を合わせて載せる。

10

【実施例 3】

【0013】

本考案に係る書籍用文鎮を使用するときに、開いた状態の書籍 10 の閉じようとする力が、書籍 10 の右側と左側とで差がある場合は、図 4、図 5 のように、より閉じようとする力が強い側（図 4、図 5 の場合は右側）に書籍用文鎮 1 の底面中央部 9 を適度にずらして載せる。このとき、書籍 10 の紙面の上から書籍用文鎮 1 がはみ出すことがあるが、図 5 のように、書籍 10 を置いた机 12 などによって書籍用文鎮 1 が支えられるので問題はない。

【実施例 4】

【0014】

本考案に係る書籍用文鎮の底面 3 以外の面に絵などを施したり、彫刻を施すなどして、美的効果を高めてもよい。

20

【図面の簡単な説明】

【0015】

【図 1】本考案に係る書籍用文鎮の斜視図である。

【図 2】本考案に係る書籍用文鎮を裏返した状態の斜視図である。

【図 3】実施例 2 を示した斜視図である。

【図 4】実施例 3 を示した斜視図である。

【図 5】実施例 3 を示した正面図である。

【符号の説明】

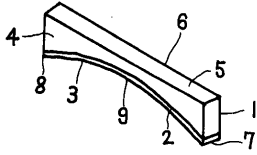
30

【0016】

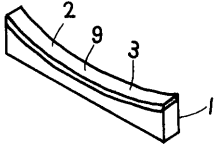
- 1 書籍用文鎮
- 2 滑り止め部材
- 3 底面
- 4 前面
- 5 上面
- 6 背面
- 7 底面右端部
- 8 底面左端部
- 9 底面中央部
- 10 書籍
- 11 書籍の綴じ目
- 12 机

40

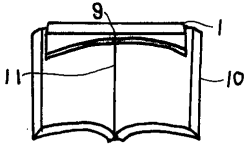
【図 1】



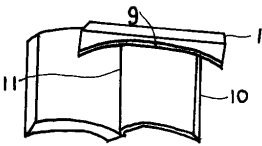
【図 2】



【図 3】



【図 4】



【図 5】

